

和光市議会 議会報告会意見交換会 概要の記録

開催日時	平成30年11月6日(火曜日)
グループ	第1グループ(全員協議会室・第2委員会室・第3委員会室)
テーマ	「産業振興について」
参加者数	14名(うち議員9名)
参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・和光市の商店(小売業)の減少と買い物できる場所の確保について、もっと活性化できないものか。 ・産業振興について、委員会として調査していきたい。和光市の強みと弱みがあるが、強みを発揮したい。 ・産業振興を分析しているが、我が町となるとできない現状がありもどかしい。行政における商工費、全体の何%か、その町の投資に値する。ポテンシャルが低い街だが、強みもあるので、その伸びしろに期待したい。また、起業家が活躍できるようにして頂きたい。 ・いちベンチャー企業として、産業を受け入れる街づくりにならない気がしている。オフィスを探していても、5~60年は入れるところがない。住宅関係は色々やられているが、街として産業に通ずる受け皿、施設がない。理研ベンチャー40社中23社は活動しているが、みな、外に出ていってしまっている。大手企業が、地元還元できる仕組みづくりをしてほしい。 ・2020年の東京五輪、パラ五輪において世界から沢山の方が来訪し、商店の活性化、和光市で買い物して頂ける環境を期待する。障害者に対してのバリアフリー対策が出来ていないと、そこにとどまれない。また、買い物するのに、和光市で要足りない。 ・2020年の東京五輪、パラ五輪、100カ国近くの方が来訪する。市の産業振興に結び付けなければ、もったいない。この機運をしっかりと活かして欲しい。 ・市の産業振興の施策、実態にマッチしていないと感じている。インキュベーションプラザの支援についても、優良企業がなかなか定着できない、環境づくりが必要。補助制度があっても、何年も使われていない。ニーズと制度があっていない。 ・東京の近郊ということもあり製造業が進出してくるのは難しい。駅前区画整理事業によって駅前が発展する、南口の駅ビルが着工し始め、来年末には完成し和光市の既存の商店街にどう影響するのか。厳しい影響も出てくるのではと感じる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・個人事業主の一人として、和光市と言ったらベッドタウンというイメージが圧倒的に多い。和光で何かしようという意識がほぼないという現状だと思っている。現在、和光市に 2000 社ちかくあるにも関わらず、スポットがあてられていない。その部分にしっかりと、光を当てることによって、賑わいが高まっていくのではないかと思う。 ・大規模小売店の店長さんにお話を伺うことがあり、朝霞地域の商圈ではないかの問いに、商業の観点から行くと和光市は東京都に入った商圈になる。色々な戦略戦術を練って商売をしている。和光市の置かれた地理的ものでどうやって行くのか。 ・南北格差を肌から感じている。南側と北側とでは公共事業な中身が違う。北口では、松之木島というところで、区画整理を行った。工業専用地域ということで物流センターなどが建設された。区画整理事業によって、新産業の創出、企業体の誘致、反対者もいるが進めている。ベースがなければ絵に描いた餅。環境を整えなければ、きれいな都市、また企業がこれない。区画整理事業を進めることにより、人口増が見込め、消費も増えることとなる。 ・住んでてよかったことは、地元の農家が新鮮な野菜育て、消費者の口に入れることが出来る。そこには、地産地消という考え方が大事。商店街が消えていく、大型店が参入し、商売の在り方もだいぶ変わってきた。工業や農業など、後継者問題もある。地元で地域コミュニティ合わせて、地域が発展していくと良いなと感じている。 ・南北格差、北口の住民としては、住宅は増えるが、買い物困難地域だと感じる。買い物しやすい都市基盤整備が必要。外環蓋掛け上部の有効活用。
<p>参加者間の 意見交換</p>	<p>「問い」朝霞市の商工会が企画、独自サービス、街歩き、食べ歩きイベントを開催。地元商店のPRと顧客獲得。面白い企画だけど出来ないものか。</p> <p>「回答」今回で4回目だが、過去2回は成果がなかった。和光でも街バルを計画して動いているが、そもそも朝霞市は、埼玉県が予算をつけてやって下さいと言って始まったもの。行政がどれだけ応援しているかにかかってくる。</p>

※参加者間の意見交換については、参加者間の質問とその答えを「問い」、「回答」という表記で統一し、その旨記録をすることとする。

和光市議会 議会報告会意見交換会 概要の記録

開催日時	平成30年11月6日(火曜日)
グループ	第2グループ(全員協議会室・第2委員会室・第3委員会室)
テーマ	「産業振興について」
参加者数	15名(うち議員 9名)
参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・理研の成果物を民間に卸す場合、和光市の企業に優先的に卸して欲しい。 ・理研インキュベーションプラザの企業が市内に定着するようにしてほしい。 ・建設関係の入札の最低制限価格を業者に無理をさせない価格にしてほしい。 ・いち会社員目線では、和光市のどこに産業があるのかわからない。農業は大したことない、工業は理研とホンダ以外大したことない、商業はイトーヨーカドーと島忠以外大したことない。小さな店は開りがないので、どんなお店があるのか知らない。 ・自然を破壊して住宅が増えていることに危機感を覚えている。税収増のために産業振興をするより、環境保全をしてほしい。市内で空いている遊休地を市内外の方に開放してほしい。 ・公共施設が壊れた際に市外の業者が改修に来ることが多いが、市内の業者を使ってほしい。市内の業者が潰れてしまえば、災害の際にすぐに対応できる業者がいなくなってしまう。 ・和光は土地が高くて理研インキュベーションプラザ出身企業が市内に残りにくい。 ・市内企業が発展するためには少しでも付加価値の高いものを作らなければいけない。そのためにも皆様の力をお借りしたい。 ・産業振興の議題であれば、前もって和光市の産業構造がわかる資料があると議論がしやすいと思う。 ・このままでは商工会加入率が50%を切ってしまう、制度上商工会が存在できなくなるので、条例を作り商工会の存続の手助けをしてほしい。 ・災害の際に市の職員は、所属課が担当課じゃない場所であっても手助けしてほしい。
参加者間の意見交換	<p>「問い」水道管の耐震補強は何%終わっているのか。</p> <p>「回答」浄水場は100%、排水管は48.4%です。</p> <p>「問い」和光市で今後製造業が成り立つのかどうなのか。</p> <p>「回答」付加価値が高いものをやれば成り立つと思います。</p> <p>「問い」和光市商工会の建設関係のコンサルティング能力はどの程度なのか。</p> <p>「回答」大手には劣るが、地元にも様々な業者がいて、信頼関係で横の繋がりをもっているのでは、適当な仕事はできません。そのような面が大きいと思います。</p>

※参加者間の意見交換については、参加者間の質問とその答えを「問い」、「回答」という表記で統一し、その旨記録をすることとする。